

衣料品の品質表示に関する意識調査 －杉野服飾大学1、2年生の場合－

An Investigation into the Student's Awareness of the Care Labels of Clothing
: A Survey for the First and Second Years Students of Sugino Fashion College

軽部 幸恵 今井 里香 藤平 アキ子
KARUBE, Yukie IMAI, Rika FUJIHIRA, Akiko

緒 言

衣服には、下げ札や縫い付けラベルに、組成表示と取扱い絵表示が記されている。これは、「繊維製品品質表示規定」第1条(表示項目)の(1)繊維の組成、(2)家庭洗濯等取扱い方法(この表示がいわゆる取扱い絵表示を示す)、(3)はっ水性に準ずるものである。「繊維製品品質表示規定」は「家庭用品品質表示法」に含まれている。経済産業省の管理下であり、その目的は、家庭用品の品質に関する表示の適正化を図り、一般消費者の利益を保護することである。

繊維の組成の表示は、組成繊維であるすべての繊維の名称を示す用語に、それぞれの繊維の混用率を百分率で示す数値を併記して表示することになっている。また繊維の名称を示す用語は、規程に定められた用語(指定用語)を使うこととされている。

取扱い絵表示は、ケアラベルとも呼ばれ、日本工業規格 JIS L0217 に準じて、洗い方、塩素漂白の可否、アイロンのかけ方、ドライクリーニング、絞り方、干し方の6項目について図記号で表示したラベルである。以下本報告の中では取扱い絵表示ではなく「ケアラベル」の表現を用いる。ケアラベルの表示法は日本の JIS、欧州の ISO、アメリカの ASTM というように国によって異なるのが現状であるが、近年、ISO 3785 に整合されるべく検討が進められている¹⁾。

このような現状下、衣料管理協会では、2006年12月末から翌2007年1月の間に、テキスタイルアドバイザー(TA)養成課程に学ぶ女子大学生とその両親に対して品質表示に関する実態調査を行い、報告書²⁾を作成した。その概要については、大橋によって報告されている³⁾。また、表示に関しての最近の報告として

は、主婦を対象とした家庭洗濯の実態調査の中でドライマーク表示の実施状況について示された報告⁴⁾、大学生のケアラベルへの関心と衣服管理の意識との関連を検討した報告⁵⁾、また近年増加傾向にある輸入衣料品についての報告⁶⁾、通信販売衣料品についての報告⁷⁾などがある。

本報告は、本学1、2年生のうち、著者の担当科目(環境科学、衣服管理、染色化学)を受講する256名である。衣服管理の授業の中でケアラベルについて説明するが、調査が行われた時点では、まだ説明していない。ケアラベルについては、小中高の家庭科の教科書に掲載されているので、認識はしているものと思われるが、その程度については明らかではない。

今回品質表示に関する意識調査を行ったのは、本学の教育が衣服を作ることを中心に据えており、本学の卒業生の多くがアパレル関連の企業に就職することから、衣料品の品質ならびにその表示に関する基礎的な知識は重要と考えられるためである。本報告では、衣料品の品質ならびにその表示に対する本学学生の意識を把握することを目的とする。得られた情報を今後の教育活動に生かすべく検討を進める。

方 法

組成表示ならびにケアラベルについて、アンケート用紙(資料)を用いて意識調査を行った。なお、アンケートの項目については、日本衣料管理協会報告書²⁾の項目をほぼそのまま用いた。調査期間は4月16日～18日の3日間。調査対象は緒言に述べた256名である。

結果および考察

回収されたアンケートのうち未記入項目があって集計できないものが19枚あり、有効回答数は237（有効率92.6%）。回答者の年齢は18歳～21歳。このうち男子79名（33.3%）である。集計結果を有意差検定プログラム⁸⁾によって検定した。本文中で差があるとしているのは、いずれも検定の結果有意差が認められたものである。

1) 組成表示について

集計結果を図1～5に示す。尚、図のタイトルの一部はアンケートの質問内容と同様にした。購入時に組成表示をチェックする割合は30%で、チェックしない学生（21%）を上回った。半分は「チェックする時としない時あり」と回答している（図1）。

この数字を既報²⁾に示されたTA養成課程の女子大学生とその両親の数字と比較して表1に示す。尚、数字の合計が100%にならない場合があるのは、無回答者がいることと、データを四捨五入したためである。既報²⁾のデータとは回答者の数が異なるので、厳密な比較はできないが、本学学生、TA養成課程に学ぶ学生の間には差は見られない。学生よりも父母、特に母親で組成表示をチェックする割合が高い傾向が示された。

ここからは本学学生の集計結果をもとに述べる。現在の組成表示については58%が問題はないとしているが、わからない繊維の名称が載っているとの答えが20%存在する（図2）。「繊維の名称を知っているか」の質問に対する答え（図3）から、ポリノジック、アラミド、ビニリデン、ポリクラーレルなどあまり衣服に使用されない繊維については、知っている割合が低いことがわかる。また指定外繊維もあまり理解されていない。ただし、こでいう「知っている」は、「知っていますか？」の設問に対する回答であるから、回答者が知っているとは認識している割合に相当し、実際には

正しく理解されていない場合も含まれる可能性があることを書き添えておく。

緒言に述べたように、組成表示には「指定用語」に定められた繊維名を記さなければならないが、「指定外繊維」とは指定用語に定められていない繊維のことである。指定外繊維の代表としてテンセル、リヨセルが挙げられる。このような新素材は指定外繊維を経て指定用語に定められる場合が多い。2007年8月より「ポリ乳酸」の指定用語が用いられている繊維は、そ

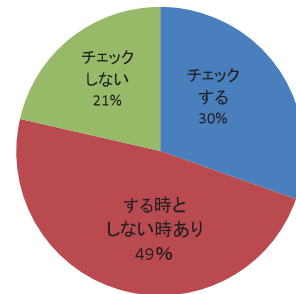


図1 衣料品購入時に組成表示をチェックする割合

表1 衣料品購入時に組成表示をチェックする割合

質問	回答者			
	本学	TA 養成課程	母	父
チェックする	30	23	67	42
する時としない時あり	49	54	30	33
チェックしない	21	22	3	21
表示を知らない	0	0	0	3

単位：%

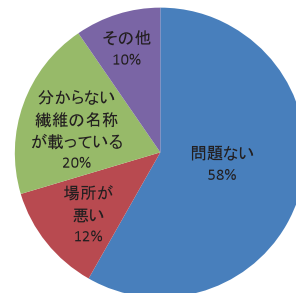


図2 現在の組成表示に問題はあるか？

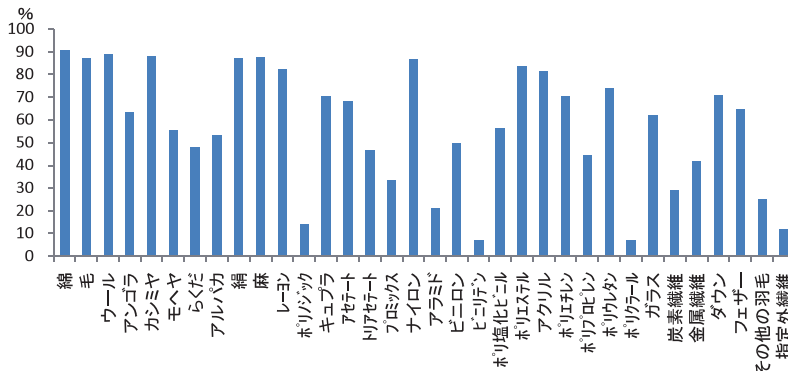


図3 繊維の名前を知っている割合

れ以前は、「指定外繊維（ポリ乳酸繊維）」との表示がなされていた⁹⁾。

現在、組成表示が義務付けられていることを知っている割合は57%（図4）、今後も義務づけるべきとしている割合が82%である（図5）ことから、組成表示が重要と考えている様子が伺える。

以上の結果から組成表示については、重要との認識はあるが、十分に活かされていないのが現状であるから、この意識を高める必要があるだろう。また、新しい繊維や衣服に使われる頻度の少ない繊維については、名称、特徴、取扱い方法などを十分理解させるよう指導する必要があると考える。

2) ケアラベルについて

集計結果を図6～11に示す。購入時にケアラベルをチェックする割合とチェックしない割合に有意差はない（図6）。また購入時に組成表示をチェックする割合（図1）とも有意差はない。この数字を組成表示と同様に既報²⁾と比較して表2に示す。

数字の合計が100%にならない理由、回答者数が異なることは組成表示の場合と同様である。本学学生とTA養成課程の学生の傾向が同じこと、学生よりも父母、父よりも母の方がラベルをチェックする割合が高いこと、すべて組成表示の場合と同様の結果である。また、父母はケアラベルをチェックする割合よりも組成表示をチェックする割合の方が高いことが示された。

ここからは本学学生の集計結果について述べる。購入時にケアラベルをチェックする理由は、購入時の判断材料として価格・デザインと同程度にケアラベルを重視しているためである（図7）。一方、購入時にケアラベルをチェックしない理由は、価格・デザインを優先するためである（図8）。

洗濯時にケアラベルを参考にしていない割合（40%）は、参考にしていない割合（12%）を大きく上回った（図9）。またこの40%という割合は、購入時にケアラベルをチェックする割合（30%）よりも高い。しかし、40%すなわち半分以下という数字から、ケアラベルが十分活かされているとは言い難い。組成表示と同様である。ここで、洗濯時にケアラベルを参考にしていない学生の約半分はケアラベルを参考にしなくても洗濯の仕方がわかるとしている（図10）。

次に表3に示すJISのケアラベル17種類について、知っているかを尋ねた。結果を表4に示す。17種すべてについて「知っている」割合は50%以上となり「知らない」割合を上回った。この結果を次のような手順で分析した。まず、①ケアラベルの7項目すなわち、

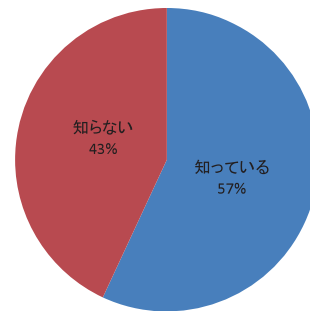


図4 組成表示が義務づけられていることを知っている割合

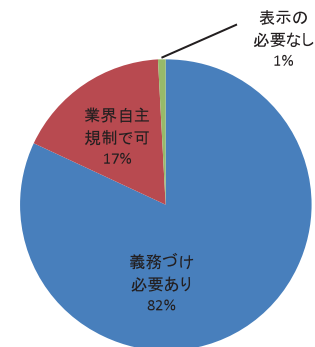


図5 組成表示は今後も義務づけたほうがよいか？

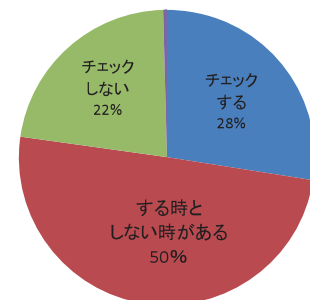


図6 衣料品購入時にケアラベルをチェックする割合

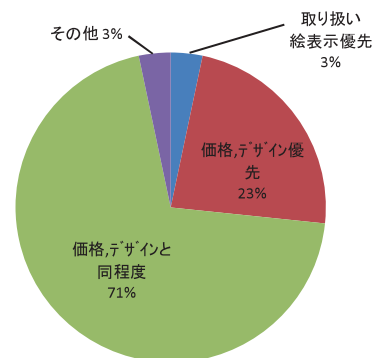


図7 衣料品購入時にケアラベルをどの程度重視するか？

表2 衣料品購入時にケアラベルをチェックする割合

質問	回答者			
	本学	TA 養成課程	母	父
チェックする	27	22	52	23
する時としない時あり	51	55	42	41
チェックしない	22	23	4	29
表示を知らない	0	0	0	4

単位：%

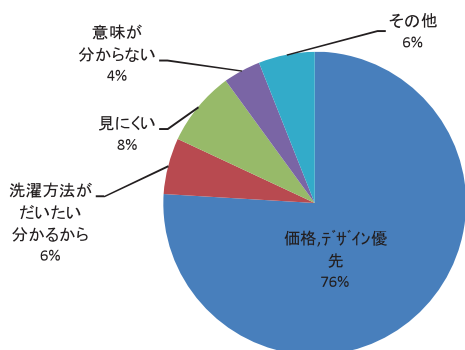


図8 衣料品購入時にケアラベルをチェックしない理由

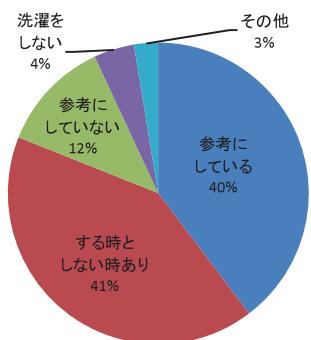


図9 洗濯時にケアラベルを参考している割合

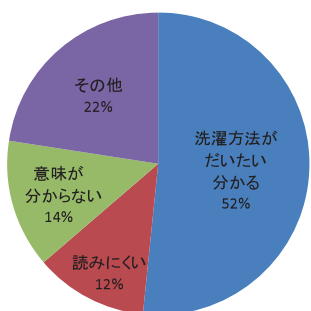


図10 洗濯時にケアラベルを参考にしない理由

表3 ケアラベル (JIS)

機械洗い			手洗い		アイロン			
A	B	C	D	E	F	G	H	
漂白		ドライクリーニング			絞り方		干し方	
I	J	K	L	M	N	O	P	Q

機械洗い、手洗い、アイロン、漂白、クリーニング、絞り方、干し方のそれぞれの項目の中に含まれる数種（例えば、「機械洗い」の項目の中に含まれるA、B、Cの3種）のラベルを知っている割合に有意差があるかを検定した。②有意差のないものについては、項目の中の数種について、知っている割合の平均値を求め、項目ごとの「知っている割合」とし、項目間で、

表4 ケアラベル (JIS) を知っている割合

		知っている	知らない	見たことがない	知っている割合の平均値
機械洗い	A	65	30	5	59
	B	56	39	5	
	C	55	38	7	
手洗い	D	69	31	0	有意差あり
	E	86	12	2	
アイロン	F	88	12	2	88
	G	92	7	1	
	H	83	14	3	
漂白	I	57	36	7	59
	J	60	35	5	
クリーニング	K	78	21	1	有意差あり
	L	55	40	5	
	M	72	28	0	
絞り方	N	75	21	4	77
	O	79	19	2	
干し方	P	67	29	4	67
	Q	66	28	6	

単位：%

有意差があるかを検定した。①の分析を行った結果、「手洗い」と「クリーニング」においては、そこに含まれるそれぞれ2種、3種のラベルを知っている割合に有意差が見られた。手洗いに関するラベルDとEでは、DよりEを知っている割合が高かった。ラベル中に「手洗い」との明確な記述があるためではないかと推測する。またクリーニングに関するラベルK・L・MではKとMを知っている割合には差がないが、Lを知っている割合はこれらに比べて低かった。溶剤名である「セキユ系」の理解が低いのではないかと推測する。ほかの項目（機械洗い、アイロン、漂白、絞り方、干し方）については、項目内のラベルを知っている割合に有意差がなかったため、平均値を求めた。知っている割合の低い順に並べると、機械洗い・漂白<干し方<絞り方<アイロンの順番であった。しかし、順番が隣り合っているものすなわち「機械洗い・漂白」と「干し方」、「干し方」と「絞り方」、「絞り方」と「アイロン」の間で「知っている割合」に有意差はない。「機械洗い・漂白」と「絞り方」、「機械洗い・漂白」と「アイロン」の間では「知っている割合」に有意差がある。このことから「機械洗い」に関するラベルと「漂白」に関するラベルを知っている割合がやや低く、「アイロン」に関するラベルを知っている割合がやや高いとは言えるが、全体的にみると、今回の調査の中で用いた17種類のラベルを知っている割合に極めて大きな差が見られるとは言い難い。より身近であろう「機械洗い」に関するラベルを知っている割合が低いのは意外に思われる。以上がケアラベルを知っている割合についてである。ただし、図3の繊維名と同様に、ここでいう「知っている」は、回答者が知っ

ていると認識しているという意味であり、実際には正しく理解していない場合も含まれる可能性がある。

近年は、海外製品の輸入増加に伴い、これらに対する苦情も増加している¹⁰⁾。その理由の一つは、海外製品のケアラベルが JIS とは異なる ISO の基準に基づいているためと考えられる。そこで、ISO ケアラベルの認知度を JIS ケアラベルと同意と思う ISO ケアラベルを選択する形で調べた。用いたケアラベルを表5に、結果を図11に示す。B、C、D、E は正解率79～90%と比較的高く、正解率に有意差はない。記号のイメージから扱い方を容易に推測でき、またそのイメージが JIS と ISO で一致していたと推察できる。これに対して A の正解率は37%でほかの4つに比べて明らかに低い。A のラベルの意味は「液温は40度を限度とし、洗濯機による洗濯ができる」であり、ISO の⑤が正解である。これを ISO の④とした割合が最も高く52%である。確かに ISO の④と⑤は似ている。その意味を同様の記号もう1種類と合わせて表6に示す。

記号の下の部分の線が機械的操作の強弱を表し、線の数が多いほど機械操作が弱いことを示す。

以上のことから ISO 表示については、今回調べたものに限っては理解されているものが多かったが、紛

表5 JIS と ISO のケアラベル

JIS	A	B	C	D	E		
ISO	1	2	3	4	5	6	7

表6 ISO 機械洗いラベルの例

ラベル			
意味	最高温度40℃ 機械的操作 普通	最高温度40℃ 機械的操作 弱	最高温度40℃ 機械的操作 非常に弱く

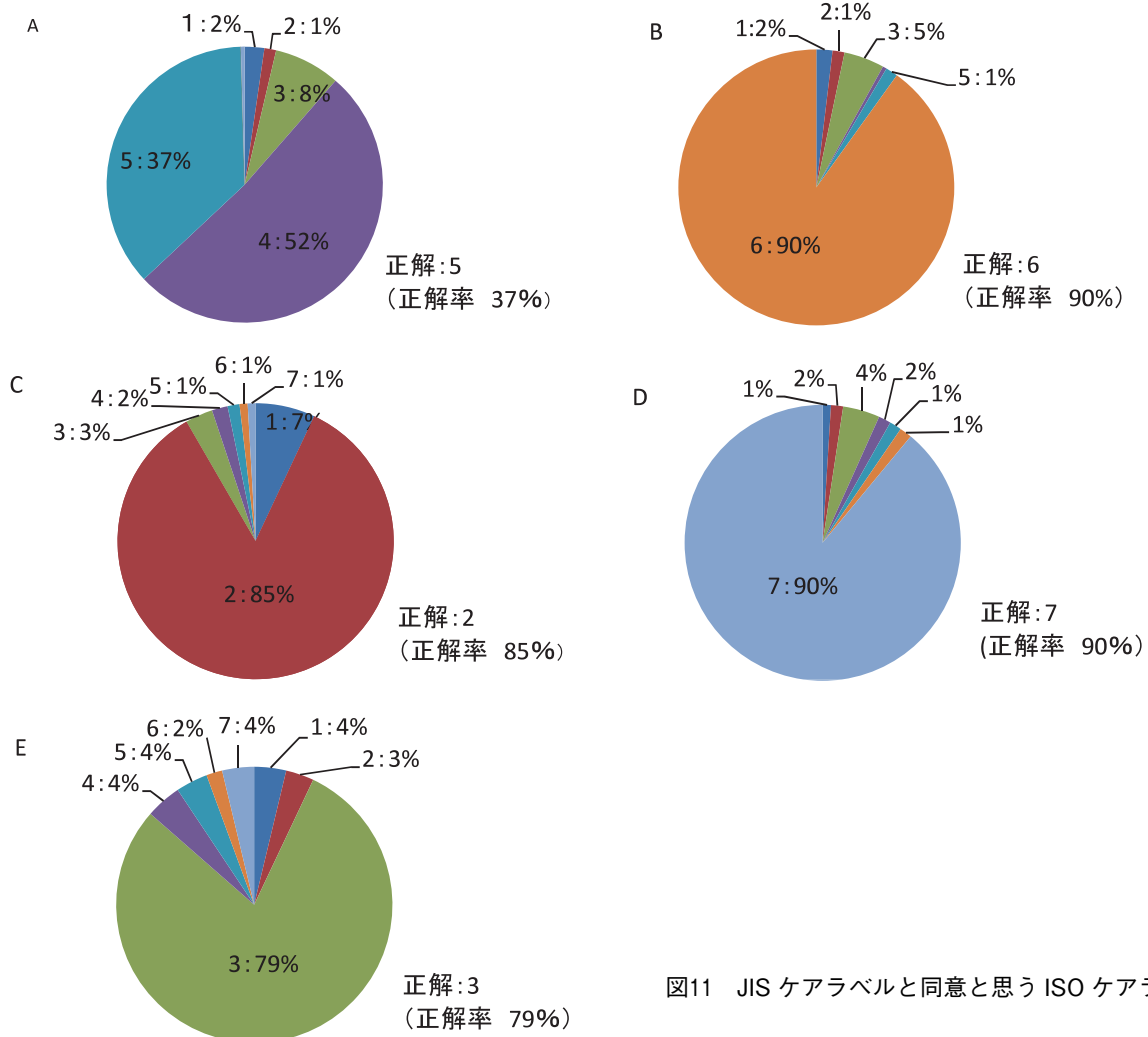


図11 JIS ケアラベルと同意と思う ISO ケアラベル

らわしいものもあり、誤解によりトラブルが発生する可能性がある。現在進められているケアラベルの国際的な統一化は必要と考える。

3) 原産国表示について

購入時に原産国をチェックする割合とチェックしない割合に差はない(図12)。また購入時に組成表示をチェックする割合(図1)、購入時にケアラベルをチェックする割合(図6)とも差はない。この数字をこれまでと同様に既報²⁾と比較して表7に示す。

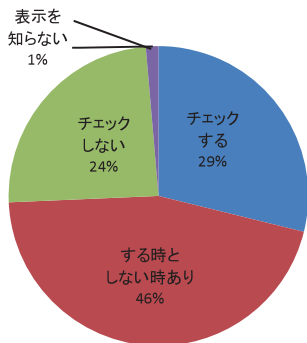


図12 購入時に原産国をチェックする割合

表7 衣料購入時に原産国をチェックする割合

質問	回答者			
	本学	TA 養成課程	母	父
チェックする	29	30	41	35
する時としない時あり	46	46	47	40
チェックしない	24	23	11	23
表示を知らない	0	1	0	3

単位：%

本学の学生とTA養成課程の学生の傾向は同じ。父の傾向も同じ。父の傾向が同じ点は組成表示、ケアラベルをチェックする割合が学生より父母の方が高かった結果と異なる。母が原産国をチェックする割合は、組成表示、ケアラベルの場合と同様明らかに高いことが示された。

ここからは本学学生の集計結果について述べる。ここでいう原産国とは衣料品の場合、縫製された国を指すが、そのことは69%の割合で理解されている(図13)。生地についての情報のうち特に購入時の判断材料になるものはなく(図14)、また生地が日本製であることも購入を決める判断材料としてとくに重要視されているわけではないことがわかった(図15)。

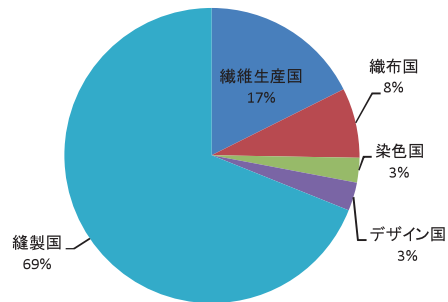


図13 原産国とはどの国を表すのか？

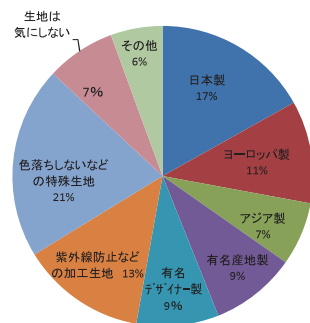


図14 生地表示について購入時の判断材料となるもの

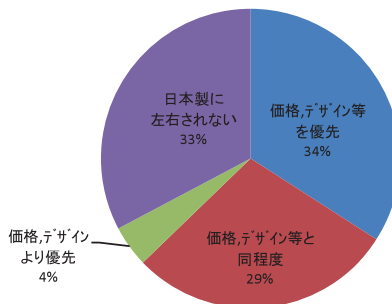


図15 生地が日本製であることを購入決定材料として重要視するか？

4) 男女差について

アンケートの主要項目について男女差を検討した。結果を表8に示す。有意差があったものについてのみ記述する。組成表示をチェックする割合には差がないが、チェックしない割合は男子の方が多かった。表3に示す17種類のケアラベルのうち10種類で女子の方が知っている割合が高かった。原産国は「縫製された国」と正しく答えられた割合は女子の方が高いが、原産国をチェックする割合は女子に比べて男子の方が高い。

結 論

杉野服飾大学の1、2年生の一部を対象にアンケートを行い、衣料品の品質表示に関する意識を調べた。その結果次のことがわかった。

表8 アンケート主要項目の男女差

(◎：99%、○：95%の信頼度で有意差あり 無印：有意差なし)

		質問項目	男子	女子	有意差
組成表示	I	問1 組成表示をチェックする	17	25	
		組成表示をチェックしない	39	> 21	◎
		問4 指定用語の使用を知っている	39	47	
	問5 「組成表示は義務」を知っている	61	60		
	ケアラベル	II	問1 ケアラベルをチェックする	33	24
ケアラベルをチェックしない			25	21	
問3 洗濯の際ケアラベルを参考にする			46	35	
洗濯の際ケアラベルを参考にしない			15	10	
問4 「ケアラベルは義務」を知っている			44	52	
問5 Aを知っている		65	63		
Bを知っている		55	55		
Cを知っている		58	52		
Dを知っている		53	< 74	◎	
Eを知っている		77	< 89	○	
Fを知っている		60	< 94	◎	
Gを知っている		81	< 97	◎	
Hを知っている		70	< 88	◎	
Iを知っている		49	59		
Jを知っている		52	61		
Kを知っている		62	< 85	◎	
Lを知っている		50	52		
Mを知っている		64	68		
Nを知っている		60	< 86	◎	
Oを知っている		63	< 87	◎	
Pを知っている		51	< 72	◎	
Qを知っている	50	< 75	◎		
問6 Aの正解率	26	28			
Bの正解率	83	< 93	○		
Cの正解率	72	< 91	◎		
Dの正解率	83	86			
Eの正解率	72	< 83	○		
原産国	III	問1 原産国をチェックする	47	> 22	◎
		原産国をチェックしない	18	27	
	問2 原産国はどこを指す?の正解率	60	< 74	○	

単位：%

1) 組成表示について

組成表示の重要性は理解されているが、組成表示が十分意識され、活用されているとは言い難い。また、衣服にはあまり用いられない繊維や新しい繊維については十分理解されていないことがわかった。

2) ケアラベルについて

ケアラベルは購入時より洗濯時に意識されていることがわかった。しかし、その割合から組成表示同様、十分意識され活用されているとは言い難い。ケアラベルの意味については、知っているとは認識している割合が高いが、ケアラベルの種類による違いは小さい。また、ケアラベルの国際的統一化が必要と推察された。

3) 原産国表示について

原産国の意味は高い割合で理解されている。生地が国産であるかどうかを含めて、生地の表示が、特に購入

を決定する材料にはならないことがわかった。

以上3つの結論を総括すると、衣料品の品質表示についての意識はあまり高くないと言える。

今回の調査結果の一部については、TA養成課程の学生とその父母の結果との比較を行った。その結果、TA養成課程の学生とは意識の差がなく、むしろ父母との間に意識の差があり、父母の方が、意識が高いことがわかった。

以上を踏まえて、今後の教育指導については、次のような点に留意することが必要と考える。

- 1) 新素材、新用語などの新しい情報は授業に取り入れて、学生に十分認識させる。
- 2) ケアラベルの意味を理解させた上で、洗濯時だけでなく購入時のチェックが重要であることを認識させる。
- 3) 近年増加傾向にある輸入衣料に記されており、今後一本化が予想されるISO表示について理解させる。

註

- (1) 片岡章「繊維製品取扱絵表示・ケアラベル ISO 3758規格の改正（最新の動向）」（『洗濯の科学』52巻第3号）洗濯科学協会（2007）pp. 2-10
- (2) 社）日本衣料管理協会「衣料品などの品質表示に関する意識調査報告書」（2007）
- (3) 大橋正男「衣料品などの品質表示に対する意識調査」（『洗濯の科学』52巻4号）洗濯科学協会（2007）pp. 30-34
- (4) 福田瑛子「家庭における洗濯の実態調査」（『和洋女子大学紀要 家政系編』）43巻（2003）pp. 85-99
- (5) 鷲見裕子「大学生の衣服管理に対する意識と実態」（『高田短期大学紀要』）25巻（2007）pp. 137-150
- (6) 棚澤葉子「輸入衣料品の取扱い絵表示と洗濯について」（『洗濯の科学』）49巻第2号（2004）pp. 26-32
- (7) 植竹桃子「通信販売における衣料品の表示に対する学生の理解」（『繊維製品消費科学会誌』）45巻9月号（2004）pp. 699-706
- (8) 有）Blufi ホームページ：http://www.blufi.co.jp/
- (9) 経済産業省製造産業局繊維課「繊維製品品質表示規定の一部改正の概要」（『洗濯の科学』）52巻1号（2007）pp. 2-12
- (10) 全国クリーニング生活衛生同業組合連合会「海

資料

本学学生の品質表示に対する意識を調査したいので、アンケートにご協力下さい。

回答用紙の該当する番号を○で囲んで下さい。

I. 衣料品の下札、縫い付けラベルなどに書かれている【図1】のような表示(組成表示)についてお伺いします。

問1 衣料品を購入する際に【図1】のような組成表示をチェックしますか。

1. チェックする 2. チェックする時としない時がある
3. チェックしない 4. 表示を知らない

【図1】

ポリエステル	65%
綿	35%
○×繊維株式会社 連絡先(住所又は電話番号)	

問2 現在の組成表示に問題はないですか。(複数回答可)

1. 今のままで問題ない 2. 表示されている場所が悪い
3. わからない繊維の名称が表示されている 4. その他

問3 以下の繊維の名称の中で知っているものはどれですか。(複数回答可)

1. 綿 2. 毛 3. ウール 4. アンゴラ 5. カシミア 6. モヘヤ 7. らくだ
8. アルパカ 9. 絹 10. 麻 11. レーヨン 12. ポリノジック 13. キュブラ 14. アセテート
15. トリアセテート 16. プロミックス 17. ナイロン 18. アラミド 19. ビニロン 20. ビニリデン 21. ポリ塩化ビニル
22. ポリエステル 23. アクリル 24. ポリエチレン 25. ポリプロピレン 26. ポリウレタン 27. ポリクラール 28. ガラス
29. 炭素繊維 30. 金属繊維 31. ダウン 32. フェザー 33. その他の羽毛 34. 指定外繊維

問4 組成表示を行う際に、問3の繊維の名称(指定用語)を使って、表示しなければならないことを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問5 組成表示は法律(家庭用品品質表示法および同法に基づく繊維製品品質表示規程)によって表示が義務付けられていることを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問6 組成表示は今後も引き続き表示を義務付けたほうがよいと考えますか。

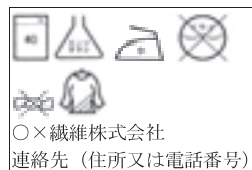
1. 表示を義務付ける必要がある 2. 業界の自主規制でよい 3. 表示の必要はない

II. 衣料品の下げ札、縫い付けラベルなどに書かれている【図2】のような表示(家庭洗濯等取扱い絵表示)についてお伺いします。

問1 衣料品を購入する際、【図2】のような「家庭洗濯等取扱い絵表示」をチェックしますか。

1. チェックする 2. チェックする時としない時がある
3. チェックしない 4. 表示を知らない(→問5へ)

【図2】



① 問1で「チェックする」または「チェックする時としない時がある」と回答された方にお伺いします。

「家庭洗濯等取扱い絵表示」は、衣料品の購入を決める判断材料としてどの程度重視しますか。

1. 価格、デザインより「家庭洗濯等取扱い絵表示」の方を優先する
2. 価格、デザインと「家庭洗濯等取扱い絵表示」は、ほぼ同じ優先順位である
3. 「家庭洗濯等取扱い絵表示」より、価格、デザインを優先する
4. その他

② 問1で「チェックしない」と回答された方にお伺いします。

「家庭洗濯等取扱い絵表示」をチェックしない理由は何ですか。

1. 「家庭洗濯等取扱い絵表示」より価格、デザインなどを優先している
2. 「組成表示」により組成が分かれば、洗濯の取扱い方法がだいたいわかる
3. 「家庭洗濯等取扱い絵表示」は、衣服の内側についているので見にくい
4. 「家庭洗濯等取扱い絵表示」の意味が分からない
5. その他

問2 現在「家庭洗濯等取扱い絵表示」を取り付けている場所に問題はありますか。

1. 問題ない 2. 見にくい 3. その他
- ① 見にくいと回答された方にお伺いします。

具体的にどこに表示をしたらよいとお考えですか。

1. 組成表示の下げ札と一緒に表示する 2. その他

問3 衣料品を洗濯する際に「家庭洗濯等取扱い絵表示」を参考にしていますか。

1. 参考にしている 2. 参考にする時としない時がある 3. 参考にしていない 4. 洗濯をしない 5. その他
- ① 「参考にしていない」「参考にする時としない時がある」と回答された方にお伺いします。

「家庭洗濯等取扱い絵表示」を参考にしない理由はなんですか。

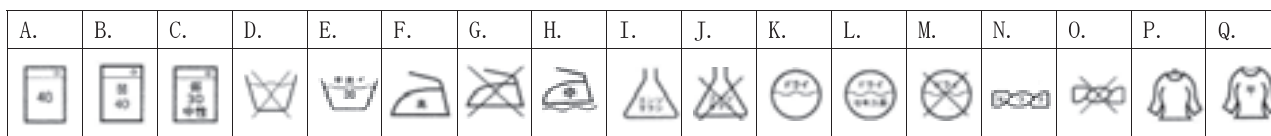
1. 今までの経験などにより洗濯の取扱い方法がだいたいわかる 2. 「家庭洗濯等取扱い絵表示」が読みにくい
3. 「家庭洗濯等取扱い絵表示」の意味が分からない 4. その他

問4 「家庭洗濯等取扱い絵表示」は法律（家庭用品品質表示法および同法に基づく繊維製品品質表示規程）によって表示が義務付けられていることを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問5 以下のA～Qの各絵表示の正しい意味を知っていますか。

1. 意味を知っている 2. 意味を知らない 3. 絵表示を見たことがない



問6 現在「洗濯取扱い絵表示」については、世界共通の絵表示にしようと、世界各国で検討しているところです。

以下のA～Eの「日本の洗濯取扱い絵表示」と同じ意味を持つ「世界の洗濯取扱い絵表示」は1～7のどれだと思いますか。

日本の洗濯取扱い絵表示					世界共通の洗濯取扱い絵表示						
A.	B.	C.	D.	E.	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.

問7 [図1]の組成表示や[図2]の家庭洗濯等取扱い絵表示において記載されている、表示者の表示（図中の○×繊維株式会社及び連絡先）を見て、今までに連絡を取ったことはありますか。

1. ある 2. ない
- ① 「連絡を取ったことがある」と回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 購入した製品に不具合があった
2. 洗濯、クリーニングによって不具合が生じた
3. 組成表示など、表示の内容について問い合わせたかった
4. 製品を気に入り、この製品や他の製品のことを知りたくなった
5. その他

Ⅲ. 衣料品の原産国表示についてお伺いします。

問1 衣料品を購入する際、原産国表示をチェックしますか。

1. チェックする 2. チェックする時としない時がある 3. チェックしない 4. 表示を知らない

問2 原産国は以下のどの国を指していると思いますか。

1. 繊維が生産された国 2. 布が織られた国 3. 染色された国 4. デザインされた国 5. 縫製された国

問3 衣料品に使われている生地表示について、以下の中から購入の判断材料になると思われるものは何ですか。（複数回答可）

1. 日本製の生地 2. ヨーロッパの生地 3. アジアの生地 4. 有名産地の生地 5. 有名デザイナーの生地
6. 紫外線防止、防しわ、防縮などの加工をした生地 7. 強さ、色落ちしないなどの特性をもつ生地
8. 生地は気にしない 9. その他

問4 もし、衣料品に使われている生地が日本製と表示されていた場合、購入を決める判断材料としてどの程度重視しますか。

1. 「日本製の生地表示」より価格、デザイン、家庭洗濯等取扱い絵表示の方を優先する
2. 価格、デザイン、家庭洗濯等取扱い絵表示と「日本製の生地表示」は、ほぼ同じ優先順位である
3. 価格、デザイン、家庭洗濯等取扱い絵表示より「日本製の生地表示」を優先する
4. 「日本製の生地表示」に左右されない

以上、ご協力ありがとうございました。
杉野服飾大学 衣服化学研究室